

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県、竹原市	地域再生計画名	安全・安心せとうち海的路ネットワークの創出計画
計画期間	平成27年度～平成29年度	評価責任者	広島県土木建築局 港湾漁港整備課長 宮本伸治、竹原市 建設部建設課長 大田哲也		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	糸崎港及び沖浦漁港について、係留施設を整備することにより、1日29便の安全な利用を確保する。(平成28年度 1日29便)	29便/日	H26	29便/日	H28	29便/日	29便/日	H29	29便/日	○	4 4	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標2	浦刈港について、外郭施設を整備することにより、小型船舶10隻を安全に収容できる係留場所を確保する。(平成28年度 小型船舶5隻)	0隻	H26	5隻	H28	0隻	10隻	H29	10隻	○		港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標3	豊島漁港について、係留施設を整備することにより、小型船舶91隻の安全な係留を確保する。(平成28年度 小型船舶0隻)	0隻	H26	0隻	H28	0隻	91隻	H29	91隻	○		港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標4	吉名漁港について、港内泊地を整備することにより、小型船舶24隻を安全に収容できる係留場所を確保する。(平成28年度 小型船舶24隻)	0隻	H26	24隻	H28	24隻	24隻	H29	24隻	○		港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
------------------------------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H28)	最終実績	

特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業 外郭施設 係留施設	80m 1基	37.5m 0.5基 (予算換算)	75m 1基	当初の計画通り、事業を実施し、港湾施設利用者の利便性向上を図ることができた。
	漁港整備事業 係留施設 水域施設	2基 10,000m <sup>3</sup>	0基 10,000m <sup>3</sup>	2基 10,000m <sup>3</sup>	当初の計画通り、事業を実施し、漁港利用者の利便性向上を図ることができた。

その他の事業	瀬戸内 海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取り組みを実施。	地方創生の実現に向けて、国内外から多くの観光客を誘致するべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域産品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。
	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。	沖浦漁港フィッシャリーナをはじめとした県内のビジター棧橋等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。(利用実績_H27d: 2,350隻⇒H28d: 2,451隻)
	大崎上島町食文化海藻塾組織の活動	地元の地域資源の活性化を目的として、地元活動組織により、地元特産品である海藻を幅広く周知。	当該組織では、定期的に体験会を実施し、瀬戸内海で育まれたアカモクについて、船からの観測や体験者自ら調理するなどし、島でおすすめする食材の魅力を発信し、漁業の振興及び地域経済の発展を図っている。
	中部地区における水産環境整備事業	水産環境整備事業により、水産資源の維持・増加を図り、生産性の高い漁場の整備を実施。	当該海域で、漁場生産能力の回復と向上を図るため、増殖場の造成並びに海底堆積物の除去するとともに、種苗放流と漁獲制限を実施し、ホンダワラの繁茂や放流魚種の漁獲量を維持し、1経営体あたりの漁獲量の増加を図り、生産性の高い漁場の整備を実施している。
	呉豊島漁業協同組合婦人部によるイベント活動	呉市豊浜町にある豊島漁港で呉豊島朝市を開催。	豊浜水産物荷さばき施設を開催場所とし、毎週土曜日に朝市を実施し、地元産の活魚を観光客等へ提供し、漁業の振興及び地域経済の発展を図っている。

計画外で独自に実施した事業	水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の長寿命化対策を実施。	機能保全計画を策定し、適切な時期に施設の保全工事を実施することにより、長期間の施設の安全性が確保でき、持続可能な漁業活動が図れるように取組んでいる。
---------------	---------------	-----------------	--

④評価方法	県関係部署で最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。
-------	---------------------------------

⑤事後評価の公表方法	広島県ホームページ、竹原市ホームページ
------------	---------------------

⑥計画全体の総合評価	本地域計画では、港整備交付金を活用し港湾整備と漁港整備の連携を行うことにより、漁業者及び住民の安全・安心は改善されていると考えている。また、島しょ部の主要産業と本土とのネットワークについて、当計画を整備したことにより、十分な強化が図れるとともに快適で安心して暮らせる島づくりが可能となった。
------------	---

⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、事業整備が完了することにより安全な定期航路及び安全に収容できる係留場所を確保することが可能となった。今後は、適切な維持管理を実施していくことで継続して安全・安心せとうち海的路ネットワークの創出をはかる。
---------	--